

2016 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	文学部
評価基準 5	学生の受け入れ【自己評定 A】
点検・評価項目(1)	5-1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
評価の視点	求める学生像の明示
	当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示
	障がいのある学生の受け入れ方針
点検・評価項目(2)	5-2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
評価の視点	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性
	入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
点検・評価項目(3)	5-3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
評価の視点	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性
	定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
点検・評価項目(4)	5-4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

II 【点検・評価項目ごとの現状説明】

5-1	文学部は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成と実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、5 学科において学んだ専門を生かし、社会に広く貢献できる人材を育成するために、下記のような人物を求める。 1. 日本文学科・中国学科・英米文学科・教育学科・書道学科の 5 学科において、それぞれの専門を学ぶことのできる基礎学力を有する人 2. 人文諸科学への関心を幅広く持ち、あらゆる課題や疑問に取り組んでいこうとする人 3. 歴史上、人間が築いてきた良き伝統や優れた芸術を尊び、後世に伝えていこうとする人 4. グローバルかつ多様な現代にあって、人間や世界は本来どうあるべきかについて考えていこうとする人 5. 自らの教養を深め、他者と協力して良き社会を作るために努力していこうとする人
5-2	適切に行っている。
5-3	在籍学生数の管理については、各学科協議会で年度ごとの入学者受け入れ数を設定し、教授会における合否判定において、過去の入学手続き率、入学定員超過率等を勘案しつつ、適正に行っている。2012～2016 年度入試の入学定員に対する入学者数比率（入学定員充足率）の学部平均は 1.16 倍で、適切である。学科別では、日本文学科が 1.21 倍、中国学科が 1.01 倍、英米文学科が 1.20 倍、教育学科が 1.19 倍、書道学科が 1.16 倍で、中国学科が 2014 年度と 2015 年度に定員未充足である。2016 年 5 月 1 日現在の学部の収容定員に対する在籍学生数比率（収容定員充足率）は、1.12 倍で、適切である（d1-表 4、B5-22 d2-表 33）。また、2017 年度より、中国学科は中国文学科として定員を 100 名から 70 名に、教育学科は 110 名から 120 名に変更する予定である。
5-4	学生募集と入学者選抜の適切性については、全学の入学試験委員会での審議を受けて、学部長と各学科主任が協議した後、学科協議会および学部教授会で審議し、定期的な検証を行っている。検証結果は入試委員会に報告され、他学部・学科の関連事項とともに審議される。また年度ごとの自己点検・評価でも検証が行われる（B5-11）。

【効果が上がっている事項】

5-1	
5-2	
5-3	
5-4	

【改善すべき事項】

5-1	
5-2	
5-3	2017 年度入試において、厳格に入学者数を管理する必要がある。
5-4	

本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

A5-1	大学案内「CROSSING2016」 <既出>A1-6
A5-2-1	2015 年度 大東文化大学 一般入学試験要項

<p>A5-2-2 2015年度 外国人留学生募集要項[学部生]</p> <p>A5-2-3 2015年度 社会人特別選抜試験要項</p> <p>A5-2-4 2015年度 編入学試験要項 (3年次編入) (2年次編入)</p> <p>A5-2-5 2015年度 科目等履修生募集要項</p> <p>A5-3-1 推薦入学試験要項【公募制推薦/自己推薦(前期)(後期)】</p> <p>A5-3-2 2015年度 指定校推薦入学試験要項</p> <p>A5-3-3 2015年度 大東文化大学第一高等学校推薦入学試験要項</p> <p>A5-3-4 2015年度 工学院大学附属高等学校推薦入学試験要項</p> <p>A5-3-5 2015年度 スポーツ推薦入学試験要項</p> <p>A5-6 大東文化大学学則 <既出>A1-1</p> <p>B5-4 大東文化大学入学試験委員会規程</p> <p>B5-6 大学 HP 入試情報 http://www.daito.ac.jp/admission/index.html</p> <p>B5-11 大学ホームページ (自己点検・評価活動)</p> <p>http://www.daito.ac.jp/information/examine/inspection/index.html <既出>B1-16</p> <p>B5-21 大学ホームページ (情報公開) http://www.daito.ac.jp/information/open/index.html <既出>B1-6</p> <p>B5-22 大学データ集 <既出>B1-22</p> <p><大学基礎データ></p> <p>d1-表3 学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移</p> <p>d1-表4 学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数</p>
<p>〔追加資料〕</p>

Ⅲ 【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価				
			2014	2015	2016	2017	2018
中期目標 (2014～ 2018)	5-3 適切な学生定員について、今後、速やかに大学当局と協議する必要がある。ただし、学部学科再編問題とも絡むことであるため、一学部のみでの判断で実施可能なことではない。	入学定員を適切に維持する。一定の学力水準を保つため適切な入学者選抜試験を実施する。	→		A		
14年度 目標	5-3 適正定員について、更なる検証を行う。	左記のことが文学部(学科)にある将来構想委員会ならびに教務委員会、主任会議で検証され、教授会へ検証結果が報告されている。	→	A			
15年度 目標	5-3・学長より「学科学生定員の変更についての要請」を受け、日本文学科、中国学科、教育学科が議論を重ね、回答を提示する。	・左記の三学科が、要請に対する学科協議会の審議を経て、教授会へ結果が報告されている。		A			
16年度 目標	5-3・学長より「学科学生定員の変更についての要請」を受け、日本文学科、中国学科、教育学科が議論を重ね、回答を提示する。 ・2017年度入学試験において定員管理を厳格に行う。	・左記の三学科が、要請に対する学科協議会の審議を経て、教授会に報告する。 ・入学定員を適切に維持する。			A		